

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 白梅学園大学・短期大学 実施報告書



実施主体 子どもの虐待防止サークル及び短大中山ゼミ  
実施内容 平成25年10月19・20日の大学祭にて啓発活動  
平成25年11月17日 子どもの虐待死を悼む市民集会

## ①事前に取り組んだ内容

啓発活動を行うための学習会、学習内容をパンフレットにまとめる。NPO全国ネットにグッズ等の注文、展示パネルの作成。市民集会パレードの宣伝カー用のパネルの作成など。

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

学園祭では、一教室を使用してパネルの展示と説明、厚労省のポスターやオレンジリボンの配布、独自に作成した資料の配布、アンケートの実施、オレンジリボングッズの配布。学園正門でのオレンジリボンと市民集会案内の配布を行う。市民集会では、宣伝カー用のパネル、会場の準備、会場での資料等の配布、受付などを行う(第1回から毎年協力実施している)

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

市民集会に初めて参加して、改めて児童虐待をなくしていかなければと思いました。山本モナさんが読み上げている時、とても心が苦しく痛くなりました。「お腹に包丁を刺されて亡くなりました」なんで、生まれたばかりの赤ちゃんが、「ベットから落ちて・・」。泣いて助けを求めていただろう子ども、情景を浮かべるととても苦しいものでした。「あなたはちっとも悪くない」とモナさんの朗読。ただ聞いているつもりだったが、引き込まれている自分がいました。「自分が悪いから」と思っている子どもたちに、「悪くないよ」と伝えられるようになりたい。人生で初めてのパレードをして、何の意味があるのか不安でしたが、歩いているうちに、伝えたいという気持ちが強くなりました。歩いたことで1人にでも伝えられるといいなと思いました。これからも勉強して、活動に参加していきたいと強く思いました。

